群 馬 ス ノ ー ア ラ イ ア ン ス 株 式 会 社

安全報告書（２０１１年）

吾妻耶山第１クワッドリフト
吾妻耶山第２ペアリフト （冬・春）
吾妻耶山第３クワッドリフト
吾妻耶山第４ペアリフト

ノルン水上スキー場
ノルンみなかみフラワーガーデン

利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社、群馬スノーアライアンス株式会社は、「安全で楽しくためになる」をその企業行動指針として掲げるクロスプロジェクトグループの仲間として、安全第一の運営方針に従い全職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんでいただけるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、自ら振り返ると共に広くご理解を頂くために公表するものです。

群馬スノーアライアンス株式会社
代表取締役　辻　隆

1. 基本方針

(1)基本方針

当社の起業行動指針の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように揚げ、社長以下従業員に周知・徹底してまいります。

① 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
ノルン全社員で安全を守ります。

② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
法律や約束(鉄道の関係法令など)を守って仕事をします。

③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。

④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。

⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。

⑥ 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。

⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2)安全目標

索道運転事故件数ゼロを目標とします。

2010年・2011年(以下、平成22年度)の目標を達成しました。

引き続き一致団結して、設備不具合事故、人身傷害事故数ゼロに向けて安全輸送に取り組む所存です。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成22年度の当社索道運転事故の発生はありませんでした。

(2) 災害

平成22年度災害(地震及び暴風雨、豪雨など)

平成23年3月11日 東日本大震災により14:50頃より16:00まで緊急停止しリフト設備の被害調査を行い、異常のない事を確認致しました。

(3) イシデント(事故の兆候)

発生はありません。

(4) 行政指導等

ありません。

(5) その他の状況 (以下の通り運休・整備を行いご迷惑をお掛け致しました。)

点検及び強風による運休等(風速25m/s)

- 平成23年3月11日 地震により14:50～16:00まで緊急点検の為運休
- 平成23年3月15日～同月18日までスキー場営業を休業
-

3. 安全輸送のための取り組み

(ア) 人材教育(各種索道研修会の参加)

1. 関東鋼索交通協会主催

平成２２年度索道技術管理員等講習会 (2日間) 2名

日本ケーブルテクニカルセミナー

電気初級 1名

握索装置の取扱い 2名

2. 国土交通省 関東運輸局主催

平成22年度索道技術管理者研修会 (2日間) 2名

3. 社内研修会の実施

6月 17 日、18 日 ジェイマウンテンズグループ 索道安全・技術委員会

10 月 15 日、16 日 ジェイマウンテンズグループ 索道安全・技術委員会

12 月 13日、14日 冬期索道スタッフ全体研修会を実施しましいた。

講師を迎え索道技術管理者、索道技術管理員、冬期索道スタッフ研修会を実施しました。

4. 国土交通省関東運輸局による「運輸安全マネジメント評価」を実施

平成 23 年 2 月 16 日 (水)

評価

①経営トップが安全管理体制の維持・向上に向けて積極的に関与していること

②安全管理体制の維持・向上に向けてグループ会社と一体的に内部監査を実施するなどの取組みを行なっていること

③経営トップから現場係員に至るまでのコミュニケーションが確保されていること

その他現地およびミーティング資料・保安情報にて安全に関する教育を逐次実施しました。

(イ) 緊急時対応訓練

当社は、冬期シーズンの営業前冬期索道全、パトロール、スクールスタッフが参加し、緊急時を想定した、索道の救助訓練を実施しております。

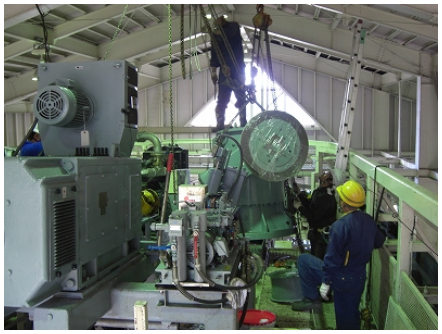
①平成22年12月14日(火)　14:00～15:30　ペアリフト救助訓練

②平成22年12月15日(水)　14:00～15:30　ペアリフト救助訓練

③平成 22 年 12 月 25 日(土)　17:00～18:30　クワッドリフト救助訓練

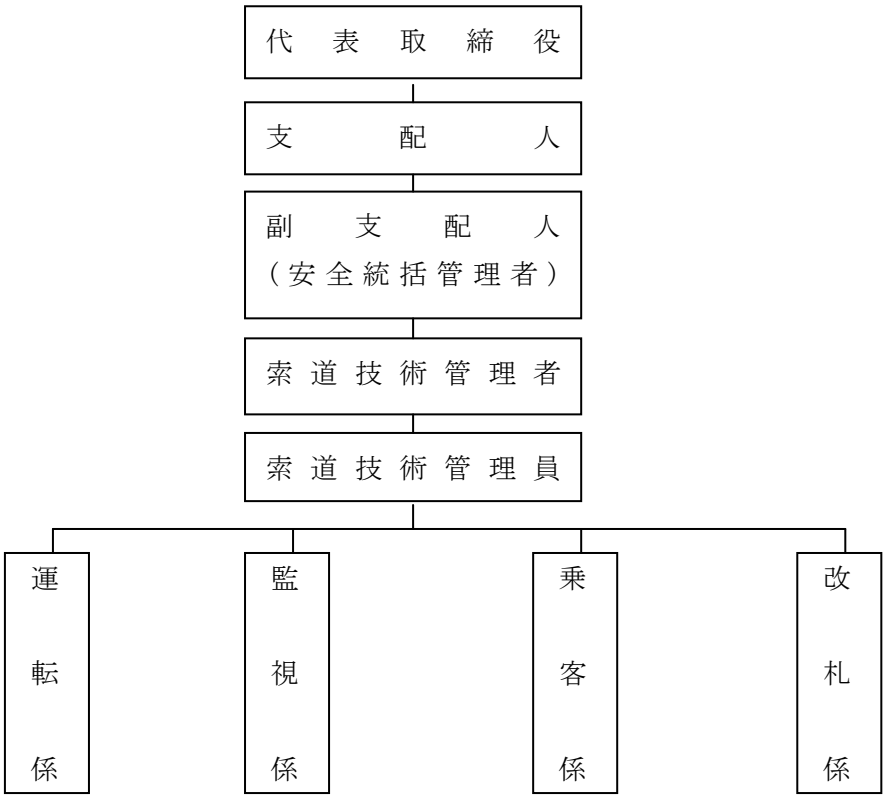
(ウ)　安全のための投資と支出

安全の維持、向上のため、修繕費用は年間 約2千万円を投資しております。
平成22年度は下記の表のとおり費用を投じ修繕・維持を実施いたしました。

吾妻耶山第1クワッドリフト 	握索機分解整備　127 機 サスペンダブッシュ交換　127 本 押送従動プーリー整備（山頂・山麓） 搬器間隔制御クラッチ及びブレーキ整備 （山頂）
吾妻耶山第2ペアリフト 	握索機分解整備、洗浄・測定・グリスUP 減速機・油圧関係オイル交換
吾妻耶山第3クワッドリフト 	押送軸整備（山頂・山麓の一部） 押送従動プーリー整備（山頂・山麓） 搬器間隔制御クラッチ及びブレーキ整備 （山麓・山頂） 常用制動機分解整備 減速機及び原動滑車、折返滑車軸分解整備
吾妻耶山第 4 ペアリフト 	握索機整備　さらばね交換 減速機・油圧関係オイル交換 全支柱グリスアップ

4. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また、各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリ・ハットや反省、気付き、改善提案等を索道技術管理員へ報告し、日々の業務に反映させております。



代 表 取 締 役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
支 配 人	事業全体の業務を統括する。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の業務を補助する。

5. 利用者の皆様の連携とお願い

(ア)お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。

お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され安全なサービスが提供できるように役立てます。

(イ)リフト乗車時の注意事項

・お客様の行動は、リフトご利用のお客様全員の安全に関わっています。

・リフトのご利用には、責任と義務が伴います。

・次のことを守ってください。

〈乗車時〉

① リフトの乗り降りに不安のあるお客様は、係員まで申し出てください。

② スノーボードご利用の場合リーシュコード（流れ止め）を必ず着用して下さい。

③ 「のりば」でスキーを正しく前に向けてお待ちください。

④ 第2ペアリフトでは、乗車後すぐに足を上げてください。（すいせん園の乗車時）

⑤ 乗れなかったら、すぐにリフトから離れてください。

⑥ ストック等が隣のお客様に迷惑にならないようにご注意ください。

⑦ リュック、荷物、衣類等のひもにご注意ください。

〈乗車中〉

① セーフティーバーを下ろし、深く腰をかけてください。（第1・第2・第３リフト）

② 乗っている時は、次のことを行わないでください。

ア、イスを揺らすこと。

イ、イスから飛び降りること。

ウ、イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。

エ、ストック等で柱や雪面などにさわること。

③ リフトが止まっても飛び降りないでください。

④ リフト乗車中は禁煙となります。

⑤ リフト乗車中は、身の廻り品や物品の落下にご注意ください。

〈降車時〉

① 「おりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進み、次のお客様の迷惑にならないよう注意ください。

② 降りられなかったら、そのままイスに座っていてください。

〈その他〉

ソリ等固定具の付いていない用具でのご乗車はご遠慮下さい。

係員の指示に従ってください。

今年度以前の安全報告書を希望の場合は、お問合せ下さい。

ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒379－1614 群馬県利根郡みなかみ町寺間479－139

群馬スノーアライアンス株式会社

ＴＥＬ0278-72-6688 ＦＡＸ0278-72-6660 Ｅ-mail info@norn.co.jp